



協育



村山市立楯岡中学校

学校だより

令和7年度

3月13日号

文責 校長 加藤

「成長したこの1年」めぐる思いを堂々と

【3月13日（金） 「修了式」の生徒代表の言葉より】

4月から生徒たちは、自分と向き合い、仲間とかかわりながら、確実に成長し続けました。13日の修了式では、各学年代表が1年間の振り返りと今後の決意を発表しました。すばらしい内容、堂々とした発表に心打たれました。

※特に印象的な部分を切り取り、要約した内容を紹介します。

1年生代表：板垣 育（いく）さん

2月には、学年全体で「ステップアップすごろく」を実施しました。これは自学ノートの提出率や授業態度、朝の会の着席状況などをポイント化し、すごろくを進める取り組みです。競い合う活動が得意な1年生らしく、この活動を通して自学ノートの提出率が100%になる日が何度もありました。また、日頃の授業の受け方についても、改めて考え直す良いきっかけとなりました。この1年で積極性や団結力を高めることができたのは、先輩方や先生方が丁寧に指導してくださったおかげです。心から感謝しています。この経験を糧に、様々なことに挑戦し、新1年生のお手本となれるよう、学年全体で精一杯頑張りたいと思います。

2年生代表：緒方 奏人（かなと）さん

2年生になり、勉強面で自分の苦手な部分に気づきました。「勉強するにも基礎が大事だ」と思い、まずは基礎固めから始めました。そうしたことで一つ一つ理解が深まり、1年生の頃よりも数倍成長できたと感じました。

2年生全体では、村山市を盛り上げるために、新しく「幸せプロジェクト」がスタートしました。プロの方々へ話を聞きに行ったり、実際に現場へ行ったりして計画を練っています。来年はいよいよ本番の発表があります。村山市を盛り上げるというとても大きな目標に向かって、2年生全体で頑張っていきたいです。

来年度は最上級生として、勝負の1年になります。挑戦することの楽しさを感じながら一つ一つの課題と向き合っていきます。

3年生代表：矢萩 悠莉（ゆうり）さん

振り返ればこの1年は、学年やクラスの絆を深め続けた「団結」の1年間でした。運動会や文化祭が終わると、あっという間に受験シーズンに突入しました。夏の三者面談で志望校を聞かれた時は、迷いながら第一志望の学校を伝えました。しかし、自分の成績と志望校を見比べ、「本当にこの進路でいいのか」と何度も悩みました。机に向かっていて、「もう無理かもしれない」と心が折れそうになったことは、一度や二度ではありません。それでも逃げずに最後まで踏ん張れたのは、ふと顔を上げた時に見える、同じように頑張る友達の姿や励ましの言葉があったからです。それぞれの目標は違っても、全員が自分の夢に向かって努力し続けた時間は、間違いなく学年全体の「団結」の姿でした。楯岡中学校で手に入れた「団結力」と「絆」は、私の一生の色あせない宝物です。



「学習面の満足度は？」「向き合う丁寧さは？」

本校は、「一人一人の生徒を大事にする学校をつくる（どの学校よりも生徒を大事にする学校をつくる）」といった高い志をもって、教育活動を進めてまいりました。授業や生徒たちと向き合う時間などを核として、教育実践を積み上げてきたところです。その効果を問うために、「生徒たちの声」を定期的に集約してきました。2月の結果は以下のようになりました。（6月・10月と比較しています。）

「学習・生活についての生徒アンケート（2月実施）結果」より

※4段階のうち 1:「当てはまる」 2:「どちらかといえば当てはまる」と肯定的に回答した割合

Q「先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思う。」

2月	1年：97.4%	2年：98.8%	3年：95.8%
10月	1年：97.4%	2年：94.7%	3年：96.1%
6月	1年：95.0%	2年：94.9%	3年：94.2%

Q「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。」

2月	1年：93.6%	2年：98.8%	3年：95.8%
10月	1年：97.4%	2年：97.9%	3年：98.1%
6月	1年：96.0%	2年：93.7%	3年：92.4%

Q「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつも相談できる。」

2月	1年：83.2%	2年：78.8%	3年：83.5%
10月	1年：76.7%	2年：76.6%	3年：74.7%
6月	1年：77.5%	2年：74.9%	3年：70.1%

Q「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがどれくらいあるか。」

※4段階のうち 1:「よくある」 2:「ときどきある」と肯定的に回答した割合

2月	1年：98.7%	2年：91.3%	3年：100.0%
10月	1年：96.1%	2年：89.4%	3年：96.1%
6月	1年：94.9%	2年：90.3%	3年：94.4%

全体としては数値が高まっている傾向にありますが、理想の学校像にたどり着くまで、まだまだ道半ばです。「生徒たちの声」がもっともっと肯定的になるように、今後さらに生徒を大事にする具体策について追求してまいります。

※この調査とは別に実施しました「後期学校評価」は、現在集約中です。結果につきましては、次年度の方針や具体策等を盛り込んだ上で、3月下旬に本校ホームページに掲載いたしますので、ご覧ください。

声を活かして「次の一手を」

【「どの学校よりも生徒を大事にする学校」をつくるために】

定期的なアンケートや学校評価等を反映した取り組みを加えながら、次年度、さらに教育効果を高めたいと考えております。生徒一人一人の「**確かな学力をより一層保障する**」「**自分の心をコントロールする力を高める**」といった2つの軸をさらに太くしていく「**次の一手**」を実践してまいります。また、教育効果を高める上で、保護者・家庭との連携は欠かせない視点です。学校と保護者、双方向の情報交換が瞬時に可能となる通信手段についても検討を進めております。10日のPTA諸会議の折にも、以下のような説明をし、ご理解をいただいたところです。より良い教育活動やより良い連携ができるよう、歩みを前に進めてまいります。

1. 「工夫してきた45分授業」に「+5分」で全員を伸ばす

「もっとじっくり・ゆっくり考えたい」「最後にまとめや振り返りをしっかりやると、頭の中が整理されるのに」などの声を反映して、これまで工夫してきた45分授業に「+5分」の授業を実践していきます。「+5分」によって、「**誰一人置き去りにしない**」「**わかった生徒をもっと伸ばす**」「**仲間との意見交換をして考えを深める**」ことなどが一層可能となります。また、体育・美術などの技能教科でも「**教科の面白さや醍醐味にたっぷり浸る**」ことができるようになります。

※全国の中学校の標準は50分。来年度、県内で45分授業を続ける中学校は、91校中、わずか2校の予定です。近隣の葉山中も50分になります。(高校入試や実力テストなども50分です。)

2. 生きる力の土台となる「心の力」を分析して指導に活かす

予測不能なこれからの時代をしなやかに、たくましく生き抜いていくためには、「**自分の心をコントロールする力**」が必要です。例えば「**挑戦するやる気**」「**粘り強さ**」「**失敗しても切り替える回復力**」「**協調性や思いやり**」などです。これらは「**非認知能力**」と言われ、学力の土台となる力です。その力を客観的に分析できる検査を行って、**心の働きと学力等を関連づけながら指導**していきます。学習意欲の向上や良好な人間関係づくりに役立てていきます。

3. 「さくら連絡網」の活用で双方向の情報交換を手軽に確実に

現在「マ・メール(メール連絡網)」を活用して、必要な連絡事項をお伝えしているところです。**情報共有の確実性を高めるとともに**、ご家庭からの連絡(欠席の連絡など)を可能にし、**双方向の情報交換が瞬時にできる**「さくら連絡網」の利用を検討しております。生徒たちの命を守る(無事を確認する)ことや、**校外活動時の状況確認・情報共有**などにも役立てていくことができます。近隣の葉山中でも活用しており、好評価を得ています。

「自分と仲間を大事にする」春休みに

生徒のみなさんへ

3月15日から約3週間の長い休みに入ります。何よりも命を大事にしてほしいと思います。また、この期間、家庭や地域での時間が多くなりますので、「生活の心得」や全学年が学んだ「SNSやネット活用の注意点(講師:村山警察署)」の内容をしっかりと胸に留めて、「心と時間」をしっかりとコントロールしながら、「自分のこと・仲間のことを大事にする行動」を積み重ねてほしいと思います。そして、新2・3年生と元気に再会できることを願っています。卒業生のみなさんもそれぞれの道で、いいスタートが切れるよう願っています。



保護者のみなさまへお願い

お子さまを取り巻く環境は年々複雑化・多様化しており、安全・安心のためには、「ご家庭での約束事の確認」や「注意を促す声かけ」がとても重要だと感じています。成長期で多感な時期であり、かかわることの難しさはありますが、遠慮せず、ためらわずにお子さまとの「確認や見届け・会話や声かけ」をお願いします。そして、お子さまの命を守り、安全・安心を確保してまいりましょう。

生活の中で特に気をつけたい視点

- ①「生活のリズム」をできる限りくずさない。
- ②感染症から身を守る。うがい手洗いの励行、栄養・休養のバランス。
- ③交通事故から身を守る。※ご家庭の判断で自転車を利用する場合は特に。
- ④携帯電話やインターネットを利用したSNSトラブルを防ぐ。
- ⑤夜間の外出などで深夜はいかい・不良行為を疑われる行動を防ぐ。
- ⑥熊からの被害を防ぐ。(県内での出没情報が出ています。)

【保護者のみなさま・地域のみなさまへ】

緊急の連絡が必要な場合は、以下の【緊急連絡先】までお願いします。

【緊急連絡先】050-5601-2767 (窓口:伊藤教頭)

- ◆保護者のみなさま、地域のみなさまから物心両面にわたって多大なご支援をいただきました。そして温かい励ましの言葉をたくさん頂戴いたしました。おかげさまで、314名の地域の宝が命を大事にして、前向きに過ごすことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。楯中は引き続き、「愛される学校」であり続けなければなりません。そのために、今後ともご指導をいただければと存じます。
- ◆3月31日をもって、令和7年度を終えることとなります。みなさまに年度末のご挨拶ができないまま、楯中を離れざるを得ない職員もでてくるかもしれません。何とぞお許し願います。離任する職員は、ここで過ごした時間を宝物として、前を向き、精進していくことと思います。どうか温かく見送っていただければと存じます。一年間、誠にありがとうございました。校長 加藤 淳一